

市の将来を担う世代や地域の協働の新たな担い手等の視点により、持続可能なまちづくりのための課題の抽出やニーズを把握し、計画策定の参考とすることを目的に、「奥州市の未来デザイン会議（市民フォーラム及び市民ワークショップ）」を実施しました。

1. 市民フォーラムの実施結果

(1)開催日時・場所

開催日時：令和8年5月31日（日）14:00～17:00
場 所：メイプル1階北側フロア

(2)目的

総合計画への理解を深め、市の現状や課題の共有し、市民アイデア募集や市民ワークショップに向けて論点を提示する。

(3)対象

奥州市民（自由参加）※主なターゲット：20～40代
約50名が来場

(4)内容

①説明（市の現状や特徴・総合計画とは）

②パネルディスカッション

▶テーマ

奥州市の未来を考える

▶司会

(株)公園 代表取締役 / Planter店主 宮本 拓海 氏

▶パネラー

【水沢】文秀堂(株) 高橋 健太郎 氏（40代）

【江刺】メゾンデュラミティエ 佐藤 睦 氏（30代）

【前沢】(株)千田精密工業 千田 ゆきえ 氏（40代）

【胆沢】県農協青年組織協議会理事 若槻 慎也 氏（40代）

【衣川】奥州市社会福祉協議会職員 千葉 泉水 氏（20代）

▶コメンテーター

奥州市長 郷右近 浩

③全体ディスカッション

アプリを活用して参加者から意見・質問を集め、司会者を通じてパネラーと参加者が議論

2. 市民ワークショップの実施結果

(1)開催日時・場所

開催日時：令和8年7月12日（日）13:30～17:00
場 所：奥州市水沢地区センター1階 視聴覚室・研修室

(2)目的

- ①第3次総合計画の長期ビジョン「目指すべき都市像」の立案（事務局案のブラッシュアップ）
- ②「目指すべき都市像」の実現に向けた具体的な取組みのアイデアの立案

(3)参加者（26名）：奥州市在住・勤務・出身の10代～40代

- ①市内関係団体 : 6名
（岩手ふるさと農協青年部、岩手江刺農協青年部、奥州市社会福祉協議会、奥州市私立保育協議会、奥州めぐみネット、防災士会「絆」）
- ②高校生・大学生 : 8名
（特定非営利活動法人YOUTH SDGs SIP、MEDIAL（メディアル）、協働のまちづくりアカデミー受講生）
- ③奥州市地域おこし協力隊 : 3名
- ④公募 : 3名
- ⑤奥州市協働のまちづくりアカデミー修了生 : 6名

(4)協 力

- ・司会進行・アドバイザー
(株)公園 代表取締役 宮本 拓海 氏
ワークショップコーディネーター（天沢珈琲） 高橋 寿俊 氏
- ・テーブルファシリテーター
奥州市協働のまちづくりアカデミー修了生
- ・ワークへの助言役
総合計画策定に係る庁内ワーキンググループ員

3.当日の様子



●パネルディスカッションでの議論

- ・人口減少は必ずしも課題ではない
奥州市での暮らしをポジティブに楽しむ
- ・世界で戦えるモノづくり企業がある
産学官で情報の共有と連携を
- ・行政や社会に頼りすぎず、自ら行動し
発信していくマインドが大事
- ・奥州市のお米は他と比べてもおいしい
高齢化が進む中でどのように続けていくか
- ・住み続けたいまちをつくるには
人や地域とつながる機会づくりが必要 など

詳細はこちらから
奥州市ホームページ
【ページID：18562】



●市民ワークショップでの意見等（抜粋）

- ・多世代が交流できる場所やイベント
- ・産婦人科がほしい
- ・バスの本数を増やしてほしい
- ・不登校の子どもたちが通うことのできる
フリースクールがあったらよい
- ・若者のアイディアを地域と協働で実現する
ためのマッチングや金銭面の支援
- ・弱みを強みに変える発想の転換が必要
- ・地域の魅力に気がつくことのできる取組み
- ・市外に向けた市の魅力発信 など



市民ワークショップの詳細はこちらから
←奥州市ホームページ【ページID：18991】